業務効率化と利用者のQOL向上を目指し エコナビスタの「ライフリズムナビ®+Dr.」と「見守りコール」で描く「介護DX」の未来

利用者と介護職員双方にメリットをもたらす取り組みとして政府も後押しする「介護DX」。ICT機器の導入だけに留まらない、真のDX実現には何が必要か。今回は株式会社チャーム・ケア・コーポレーションが新たに開設した「チャームスイート四谷」の取り組みを紹介。同社のDX担当者、およびアイホンと協業するエコナビスタ社に話を聞いた。

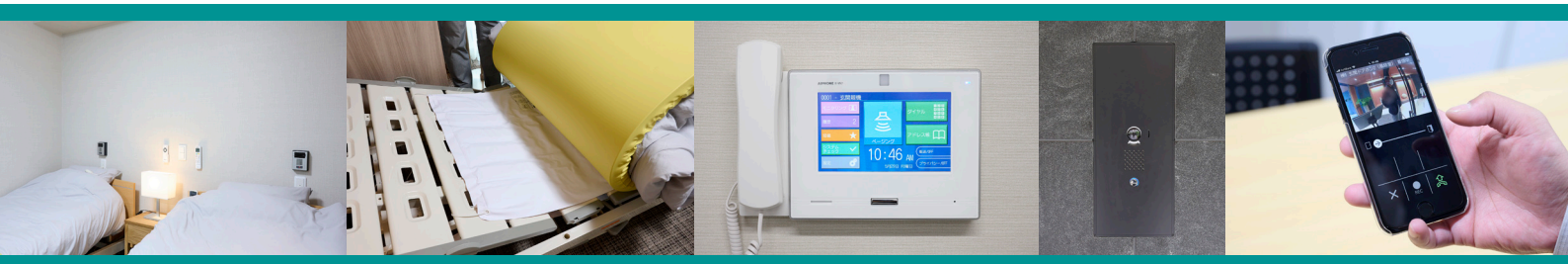
――今回、導入されたシステム概要と背景をご説明ください。

杉嵜：チャームケア様から、「介護DX」を推進する上での基本機能として“呼び出し機能”の実現についてご相談を受けました。またこれまでスタッフの皆さまはPHSやタブレット、インカムなどを複数携帯し、操作も複雑になっていたため、その点も改善したいとのご要望もいただきました。そこで私たちは、“スマホ1台でできる”をコンセプトに、双方向での通話が可能な「見守りコール」の導入だけでなく、アプリひとつで見守りやアラート確認までも実現できる「ライフリズムナビ+Dr.」をご提案しました。ライフリズムナビ+Dr.は、ホーム内の各居室や共用部に非接触のセンサーを複合的に設置するのですが、特に中心となるSleepSensorは、ご入居者様の、就寝中の心拍や呼吸の状態や体動、睡眠の長さや深さまでスマホやPCで確認することができます。一般的な施設では夜中に複数回、定時巡視としてご入居者様の居室の様子を確認する必要がありますが、ライフリズムナビ+Dr.を導入いただくとスマホ等で居室の様子がリアルタイムに確認できますので、ご入居者様の睡眠を妨げることなく状況を把握することができます。これにより定時巡視の削減につながるため、スタッフの方の業務負担の軽減はもちろん、ご入居者様のQOL改善にも繋がります。

――今回は、新規開設と同時にシステムを導入されましたね。

杉嵜：ライフリズムナビ+Dr.を導入いただくにあたってはネットワーク環境が必要ですが、今回は設計段階から関わらせていただき、最適な設計ができました。まさに「介護DX」実現のモデルケースになると考えています。これは、チャームケア様の経営層の方が、積極的かつ具体的に「介護DX」を推進されているからに他なりません。

増澤：まさにその通りで、社内に専任部署を置いています。“「介護DX」を推進する”という経営陣の意思の表れです。具体的には、エコナビスタ様や事業パートナーのヒューリック様にもご協力いただきながら「スマートシニアハウジング構想」と呼ばれるICT、IoTを活用した介護施設づくりを進めています。「介護DX」のメインはご入居者様の見守り業務です。今までは居室の中に入らなければ状態は分かりま



今回の事例納入先

CHARM

株式会社　チャーム・ケア・コーポレーション
https://www.charmcc.jp

首都圏・近畿圏で有料老人ホームサービスを展開。
「チャーム」はスタンダードブランドとして、「チャームスイート」は
利用者の声を形にした設備やサービスを取り入れたミドルブランドとして人気。

チャームスイート四谷
〒160-0011
東京都新宿区若葉2-12-5

せんでしたが、ライフリズムナビ+Dr.を導入し、入室しなくても状態を把握できるようになりました。さらに、通話や通信の手段も1つの端末に集約することができています。

意欲的なオープニングスタッフの“良い前例を作りたい”という思い

――新システムに、どのような期待をお持ちですか。

増澤：根本には介護業界における人手不足の問題があり、業界全体で生産性向上に取り組んでいます。私たちとしましてはまずチャームスイート四谷のようなスタンダードなホームでトライすることで、良い結果を業界全体に波及させていければと考えています。スタッフの物理的負担の軽減はもちろん、スタッフ同士のコミュニケーションが取りやすくなることで、働きやすい環境を構築したいと思っています。新卒の方も含め、最近は“新しい機器やシステムが導入されているホームで働きたい”という人が増えています。そういった意味でも大きな期待を寄せています。

佐藤：施設によっては未知のシステムを不安視する人もいます。またこれまでの紙の業務からデジタル機器を利用した業務に移行することに違和感を覚える方もいらっしゃいますね。

増澤：その点は新規開設の良さだと思っています。既存のホームに導入するとハレーションが起きて、受け入れられないスタッフもいますが、オープニングスタッフは前向きに捉えてくれる方が多いようです。チャームスイート四谷に関しては、比較的年齢層が高いスタッフの方も、ライフリズムナビ+Dr.を柔軟に受け入れてくれているという印象です。“いろいろと試してみたい”という雰囲気でした。私たちの意思も直接伝えていますし、「介護業界で良い前例を作るような、最初のホームにしたい」とスタッフが前向きに話してくれています。そのような意欲的なスタッフがいることで、施設の雰囲気も良くなりますね。

ICT機器の導入によりスタッフの士気も向上より良いサービスが提供できる

――今後の目標を教えてください。

増澤：まずは、生産性を上げることでホームとしての価値向上に繋げたいと思います。そしてその先は「介護DX」で得られるビッグデータの利活用にも期待を寄せています。あらゆる業界にAIが広がっているなか、多くの介護記録等のビッグデータをAIで分析しホームにフィードバックする。今の介護でできていることや、できていないことを適切に判断し、改善していくことでホームのサービスの質も飛躍的に向上すると思います。

杉嵜：「スマートシニアハウジング構想」には、業務効率化とQOL向上の両面がありますが、それぞれにおいてAIを活用することが重要な要素です。蓄積されたビッグデータから最適なケアがどういうものかを人が考えるだけでなく、AI側からも気づきを与えるところまで実現していきたいと思っています。とはいえ、まずはシステムの運用定着が重要ですから、増澤さんやパートナーの皆さまと共に、着実に推進したいと考えています。今回のプロジェクトは、チャームケア様とアイホン様にご協力を得ることで実現しました。まさにこれからがスタートと認識しています。

増澤：ICT機器の導入は、スタッフの業務改善とビッグデータの利活用によって、ご入居者様のQOL向上に繋げられることがメリットです。スタッフの士気も上がり、より良いサービスを提供できることによりホーム全体の価値が上がると期待しています。弊社の導入事例が、ICT機器導入に迷われている方の後押しになればと思います。

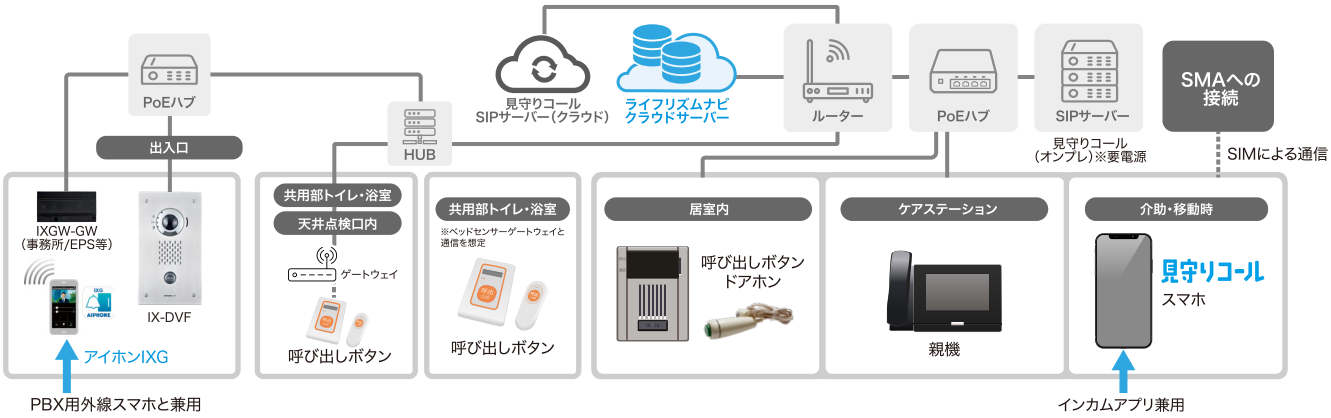
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
教育研修部
介護DX推進課課長代理
増澤良明 様

エコナビスタ株式会社
取締役
杉嵜将茂 様

エコナビスタ株式会社
営業部
佐藤亮太 様

エコナビスタ社ライフリズムナビ+Dr.とは?

ライフリズムナビ+Dr.は、睡眠解析技術をベースにしたSaaS型高齢者施設見守りシステム。居室内外に設置するさまざまなセンサー・機器を活用して、利用者のプライベートを尊重しながらの見守りが可能に。スマホ一台で、離れていてもリアルタイムに状況確認ができるため、業務効率化や悩みの解決につなげることができる。



EcoNaviSta **エコナビスタ株式会社**　https://econavista.com/　〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町3-1KKDビル6F

ライフリズムナビはエコナビスタ株式会社の登録商標です。

ご相談・お問合せ窓口
アイホン株式会社　営業推進部
TEL：052-228-9971　Mail：dearest-partners@aiphone.co.jp
アイホン